年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：2022 年 4 月 15 日
● 事　業　名　：学校の長期休みを中心にした函館圏のセンターとなる学童保育所の開設
● 資金分配団体　：一般社団法人 北海道総合研究調査会（HIT）
● 実 行 団 体　：株式会社ヒトココチ
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑ 有　☐無

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
函館圏において、小学生の保護者が我が子の最低限の学びを保障できる場の設置	我が子の最低限の学習能力が保障されているかの保護者の不安度および満足度	対象保護者が、本事業を周知し、活用が常態化すること	2022 年度 3 月	2021 年度末時点で、平日（月）～（金）に、小中学生 26 名が毎週参加しており、目標値は超えた状態にある。	1
函館圏において、小学生が学ぶことの楽しさに触れられる機会の提供	小学生自身の学びに対する関心と意欲の有無	対象小学生が、本事業を周知し、活用が常態化すること	2022 年度 3 月	学校の勉強とはひと味違う、「みかん箱」の学びにようやく常連参加者が慣れてきたためか、友	2

				達に誘われて入会するケースも見受けれられる。	
函館圏において、小学生の保護者が、長期休み中に安心して子ども預けられる場の設置	長期休み中における保護者の子育てにおける不安度および満足度	対象保護者が、本事業を周知し、活用が常態化すること	2022 年度 3 月	2021 年度は、各長期休みのたびに感染症の波が直撃し、年間登録者 18 名に対する日々の参加率が高くなかった。一方、事業に対する問合せは通年あり、函館圏において、定着してきた感がある。	2
函館圏において、小学生が充実した長期休み期間を送ることができる場の提供	小学生自身の長期休みに対する充実度	対象小学生が、本事業を周知し、活用が常態化すること	2022 年度 3 月	参加した小学生の保護者からは、こどもの希望により、学童のプログラムを優先して家族の長期休みのスケジュールを組んでいるという声をよく聞くことができた。	2
感染症対策がとられた空間づくりと活動ルールの設計	北海道の新生活様式への適応度	参加者が安心して参加できる状態	2021 年度 3 月	とくに長期休みの参加率が低く推移しており、より安心して活動に参	2

				加してもらうための環境整備により一層取り組む必要がある。	

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑ 変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
「ひのてん Q」 （実績）2021 年度は、長期休み中に、年間で計 40 日間開設（平日 8:00～19:00、土曜日 8:00～18:00）、のべ参加人数は、小学生 231 人 （エピソード）4 年生になった M さんは、学校が年 4 回（年度始・夏・冬・年度末）の長期休みに入ると、毎回欠かさず参加してくれる。期間中も、体調不良時以外は、ほぼ皆勤してくれる。彼女の楽しみは、そこだけで会える友達との再会を楽しみにしていること、ひのてん Q で過ごす 1 日および体験プログラムが率直に楽しめることにある。通常保育の毎日会員の子ども達の中にも、常連参加者であり、ムードメーカーでもある M さんとの再会を心待ちにしてくれている子どもは多い。長期休みの学童保育開設に関して、立ち上げ当初は、仲間づくりやこども同士の関係性がうまく築けるかどうか心配する声も大きかったが、M さんのような常連参加者が増えてくると、かえって程良い緊張感と新鮮さが集団の中に保たれて、現段階ではうまい方向に進んでいる実感が大きい。 「みかん箱」

（実績）2021 年度は、年間で 190 回開催、のべ参加人数は、小中学生約 800 人

（エピソード）

冬のある日、真夜中に突然枕元のスマホから警戒音が流れ出した。街頭のスピーカーからは、津波が発生する可能性を告げる放送が、函館の港に何度も鳴り響いた、、、、、こういった事象があったときは、その週のみかん箱は、早速、地震と津波の発生原理を伝える授業に切り替わる。教室にやって来た子ども達に「昨晩はとび起きた？寝れた？」という、こちらからの声かけで始まる授業は、1 年生は 1 年生なりに、6 年生には 6 年生なりの視覚教材を準備し自然現象について考えてもらう。何度か、こういったことがくり返されると、子ども達の方もトンガの海底火山噴火があった翌日は、開口一番「今日は、火山についてやるんでしょう？」とこちらの取り組みを先回りして、聞いてくることもある。みかん箱の講師陣が、世の中で起きている事象についてどういう話やボールを投げてくれるのか心待ちにするアンテナのようなものが、こども達の中に少しずつ育っているようだ。

（成果）今年度は、４つのめざましい成果があげられる。

（1） この場が、単なる学校の勉強の補完の場ではなく、本来の学びをこどもとスタッフが一緒につくりあげる場であるという自覚が築けたこと

（2） （1）の方向性を高めるための自主教材がスタッフの力により多数開発されたこと

（3） 「トンガの海底火山噴火」の仕組みを学ぼうなど、そのとき世の中で起きた事象をこどもと共に探求する習慣が根付いてきたこと

（4） 会員以外の方も参加できる「オープンみかん箱」、「おとなのためのみかん箱」、「出前みかん箱」など、開発した教材を各地で展開し広めていく土台が築けたこと

6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

・「食」に関するプラグラム活動は、ほぼ室内では行わずに、野外調理に専念した。

・博物館などの施設の利用は、人が混み合う曜日を避け、なるべく平日の日中に行った。

② 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況

☑ 自団体のウェブサイトで表示している　☐広報制作物に表示している

☐報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☐その他

→「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） 自社の Web サイトで、積極的に、活動の様子を一般向けに報告した 2.広報制作物等 3.報告書等 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

④規程類の整備に関する報告

1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑ 完了　　☐整備中
2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☑ 全て公開した　☐一部未公開　☐未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
☑ はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑ はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☐内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☑ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑ はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☑ はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑ 内部監査を実施　　☐外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

学びのサポート塾「みかん箱」日々の模様

（1）～秋の植物を拾って観察しよう～

学びのサポート塾「みかん箱」日々の模様

（2）～おり紙を折ってから切ると、どんな図形が生まれるかな？～

学びのサポート塾「みかん箱」日々の模様

（3）～洋服屋さんの店員になって、電話注文を受付けてください～

長期休みの学童ひのてんＱの活動の模様
～自分だけの絵本をつくろう～